

胃の検査(胃カメラ)



画像を表示しながらそのまま検査・治療します。



管は鉛筆とほぼ同じ太さです。

胃カメラ(内視鏡検査)は電子スコープという先端にカメラの付いた細い管を用いて、**直接、食道や胃、十二指腸などの中を撮影**する方法です。胃炎などの**炎症、潰瘍、胃がんなどの腫瘍の診断**などのために行います。胃透視などのエックス線検査では発見しにくい**小さな病変**を捉えることができ、非常に診断能力の高い検査です。最も大きなメリットは、撮影と同時に直接細胞を採って検査できることです。

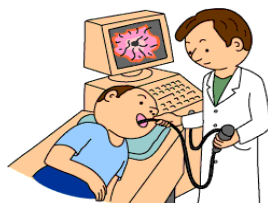
検査は喉の麻酔を行い、安定剤を使用することで、比較的楽に行えます。**所要時間は5分~10分**です。

胃内視鏡検査は早期胃がんの発見に大きく貢献しています。内視鏡での胃集団検診により発見されるがんの中で約60%は早期がんという成績も報告されています。早期がんの中には、内視鏡的に治療を行えるものもあります(治療内視鏡)。

検査費用

3割負担では... ¥4,330

1割負担では... ¥1,450



¥1,630追加でピロリ菌検査もできます。